

明治期刊行海図の表題の変遷について（その2 完） (海図番号401～1021)

中嶋 邸：航法測地課

Title Changes of Japanese Navy Charts in Meiji Era (Part 2, completed) (Chart Number 401～1021)

Tei Nakajima : Geodesy and Geophysics Division

水路部技報12号に（その1）として海図の表題の変遷について報告後、水路部図書館の奥に残存の貴重な資料を見付けた。開業から大正13年末までの刊行海図について、番号、図名、刊行年月、新改版また覆版の別、調査時点の当該海図の残存有無を調べて、罫紙にペン書きで表にした資料で、「自明治□年至大正十三年 水路部刊行海図調 原備掛」(□は欠字)と墨書した和紙で綴じてある。調書の初頁の、完成時の供覧印や「昭和六□十月現□」という書き込みから、調書完成は昭和6年の後半である。昭和の初めに昔日を顧み、明治初年から大正13年12月までの刊行総数は3,060枚とまとめている。

この調書は明治期海図の刊行状況を変遷表にまとめるのにまた修正確認に有効だ。12号の変遷表の修正は年月など時間についての修正が多くて、正誤表では追随出来ぬ程である。修正を施した変遷表を筆者がその時点で分かった正しさに維持し続け、連絡を頂けば修正済の表を渡すことで道義的責任を取らせてもらいたい。今号の変遷表は、前号に記した参考資料のほか、上記の「海図調」と国会図書館が保存する各年刊行の「図誌目録」を使った。目録の概要は次のとおり。

明治20年と27年は目録を刊行したかどうか不明。
19年、21年、22年は「刊版海図水路誌目録」。23年、
24年は「刊行図誌目録」。25年、26年、27年、28年、
29年、30年、31年、32年、33年、34年（四枚の海
図索引を登載）、35年（前年同様海図索引を登載），
36年3月（海図索引は32年5月出版と記載、以降

毎年索引は登載される）、36年10月、37年（海図索引に海図番号付与）、38年、39年、40年、41年3月、42年、43年、44年、45年は「刊行水路図誌目録」。19年のみ水路部保存。18年刊有るというも未見。

前号と今号で明治期の海図表題の変遷の概略が示された。従来は図誌目録と索引図を使って海図の作製刊行状況が認識されたが、新しく番号毎の海図表題の変遷を時間列に並べる整理法でまとめたので、変遷表を有効に使って頂ければ幸いである。この表を作成する過程で、国立公文書館が保存する明治初期の海軍海図を閲覧できた（明治12年末まで）ので、その実態を以下に報告する。

この保存海軍海図は明治時代洋装図書分類目録に五群に別けて整理されている。その整理上の函数は五群共通で558函、その号数が五群あって、88号が明治7～31年刊行のもので鋪数220鋪、88A号は明治7～25年で54鋪、88B号は明治7～24年で9鋪、88E号は明治17～大正12年で49鋪、88D号は明治9～43年で44鋪よりなる。これらの図の多くには「外務省図書記」という大型の角印が表裏中央に押され、外務省、内閣文庫、公文書館と渡ったものである。88号、88A号、88B号は保存の良いものが多い。88E号は見ず。88D号は丸めての保存が多く、裏打ちの剥がれや虫食いが多いが、他の号群にない時期の古い図も含み、時期の新しい図では裏打ち無しが多い。

そのほかに水路部所蔵の大日本海岸実測図とは異本の大日本海岸実測図が、特77乙函1号として保存されるも、損傷甚しそして閲覧できず。

変遷表によれば、多少の出入りはあるがほぼ年代を追って順に海図番号をつけて海図が発行されている。明治11年頃から改版が目立ってくるが改版図はこの明治初期の海軍海図の実態報告には含めなかつた。当時の補刷の頻度は不明だがそれほどの頻度ではなかつたであろうことから、取り上げた海軍海図は一部のものを除き図に記載されている刊行時期に印刷発行されたものと推定した。また刊行時期が図載されていない極く初期のものもほとんどは変遷表の刊行時期に印刷発行されたものと推定した。つまりいずれの場合も変遷表の刊行時期を推定発行年月とした。さて明治初期は後世以上に覆版の事実を憚り例えは覆版図にはローマ字図名を入れぬ一方で、オリジナル測量による海図のみを公表するなど、両者の間で扱いを違えている。外地の覆版海図はそのような面からも貴重で、慎重に検討する必要がある。以上の観点で保存海軍海図について個々の図の刊行時期を示唆する要素を整理表としてまとめた。その要素の主なものについて次に述べる。

☆朱色縦長角印と海図の定価——保存海軍海図の初期のものには、定価○○銭と縦長の囲み角印が、海図の裏面の裏打ちのハトロン紙様の紙の上に押されているものが多い。定価は、後に海図の表面に水路部印章が刷り込まれるようになると、この印章の下側に印刷されるようになる。水路部印章と定価の表示の様子は日本水路史の口絵F16の東京海湾図を参照されたい。口絵の東京海湾図は、図版3(海図第9号東京海湾図)の後年の補刷物で、ローマ字図名や水路部印章等の追加補入に注目されたい。実際の朱色縦長角印の様子は、図版1(海図第3号釜石港・宮古港之図)の青色部の右下、図版2(海図第19号那覇港之図)の青色部の右下、図版4(海図第9号東京海湾図)の右下に見られる。角印と言つたが囲みの上辺下辺は丸みを帯びている。整理表の右から7番目の列に角印の有無をまとめた。海図番号20までは角印の見られるものが多い。海図番号23から41までは角印も押されず印章も刷り込まれていない。このことは角印を押して定価が表示された時

期の後に、定価を表示しなかつた期間があった可能性がある。しかし角印が見られぬ海図も、本来は角印が押されながら、後日折りたたんでの保存のための表装を施すために角印の押された図端が裁断されて切り捨てられて、現在は角印無しになっている可能性もある。半分に切れた角印も見られることから後者の可能性のほうを筆者は予想する。その後海図番号42以後は印章が刷り込まれ、印章の下に定価が表示されて、定価が海図の表面に明示されるようになる。印章の刷り込みは早いものでは明治8年から見られる。

水路部沿革史付録・上の明治10年の条に、10年末現在、覆版海図を除いた局板海図の目録が載せられ、10年定価も記してある。整理表の右から4番目の列にその値を示した。右から5番目の列には角印または印章による表示定価を示した。表示定価は10年定価とよく一致する。ただし第3号や第13~16号などの貼合海図の場合は貼合の手間が入るからか高いようだ。

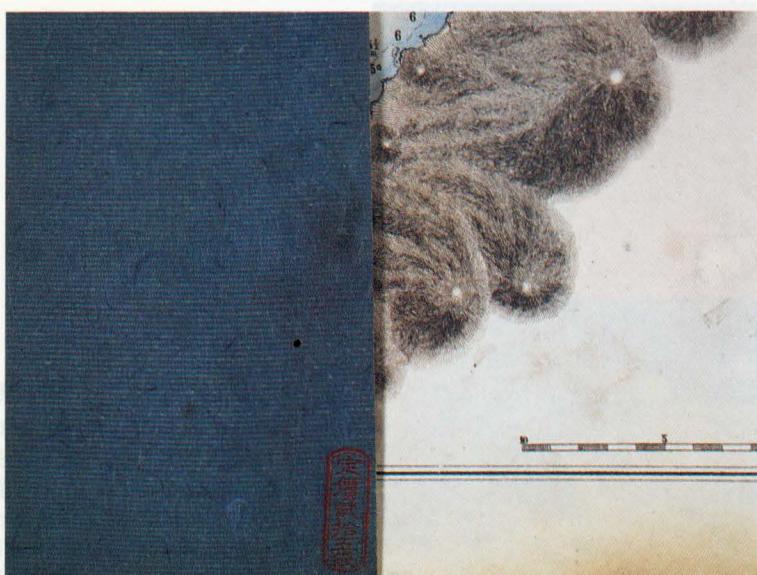
この明治初期の定価は10年定価と変わらず、未改版で存続した海図では19年までも変わらなかった。日本水路史によれば、明治5年から定価を定め販売人を立て、水路部直売もやったという。一般的の利用は大変少なく、役所間は今と同じで融通し合つたであろうから、水路部が直売のために角印を押した海図が役所間の融通で移動後残存したものと推定される。

☆青色ハトロン紙様の紙による裏打ち——海軍海図の用紙は、明治中期以降のフェルト状の厚い洋紙とは異なり、それほど厚くない洋紙が使われている。海図用紙のことは措いて、よく分からぬなりに、青色の裏打ち紙について記載する。保存海軍海図の中には寒冷紗で裏打ちされた図や、何ら裏打ちのされていない図がある。しかし閲覧した時期のものは、青色のハトロン紙様の紙で裏打ちされた図が多い。この裏打ちは図版2に見るようにケバ立ちのある青色の紙でなされている。この紙は幅約1mmのやや透明な部分と不透明な部分が、横目方向に交替するも



図版1 海図第3号 釜石港・宮古港之図の貼合図の表面・裏面

左端約1/8の青色部は、ハトロン紙様の紙で裏打ちされた海図の裏面を、保存のための折り目で折り返して示したものである。青色部を左に返せば縦長の宮古図となり、釜石図は横長である。青色部の右下端に朱色縦長角印。国立公文書館所蔵の「海軍海図」558函88号35鋪（明治時代洋装図書目録の整理番号）より複写。約1/14.4に縮小。



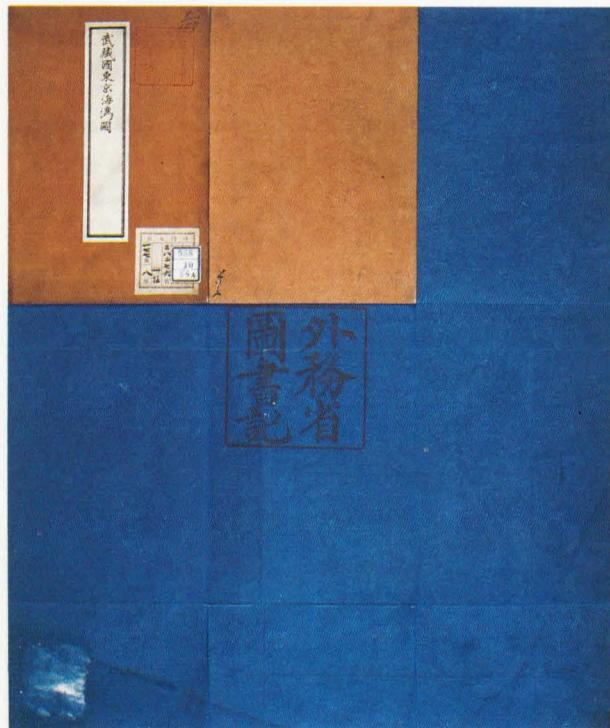
図版2 海図第19号 那覇港之図の表面・裏面の部分

左半の青色部は裏打ちのハトロン紙様の紙。図版1より拡大されているのでハトロン紙様の左右の縞目が明瞭。またその右下に朱色縦長角印。定価24銭と読める。国立公文書館所蔵の「海軍海図」558函88号87鋪（明治時代洋装図書目録の整理番号）より複写約1/1.8に縮小。



図版3 海図第9番 東京海湾図の表面

左端下部に縦書きで、海図番号と銅刻者名が印刷されていて、辛うじてその内容が読み取れる。折りたたみ保存のため、この左端部分が切り捨てられた結果であって、縦書きの「第九番 松田龍山刻之」との印刷は、右半分ぐらいに細っている。国立公文書館所蔵の〔海軍海図〕558函88A号10鋪（明治時代洋装図書目録の整理番号）より複写。約1/5.7に縮小。



図版4 海図第9番 東京海湾図の裏面

青色のハトロン紙様の紙による裏打ちと折たたみ保存用の表装の様子が分かる。左下には何らかの貼付物をはがした痕跡が見られる。右下の角近くには朱色縦長角印が右半部を切られて部分的に残存する。裏打ちし定価を印示した後に、折たたみ保存のために裁断されたことが分かる。図版3の左下の裏面が、この図版4の朱印の付近に当たる、国立公文書館所蔵の〔海軍海図〕558函88A号10鋪（明治時代洋装図書目録の整理番号）より複写。約1/5.7に縮小。

ので、今で言うハトロン紙と考えられるられるので、「青色のハトロン紙様の紙」と表現した。

紙の博物館での聞き取りによれば、ハトロン紙とは一種の透かしを縞目に入れたもので、明治10年頃では未だ国産ハトロン紙は無かったのではという。糊付けが剥がれ分解しかかった海軍海図を偶々閲覧できた時の観察では、海図本体の裏面に薄い美濃紙様の和紙を先ず貼り、その上に青色紙を貼っている。この青色紙の大きさはB4大で、それほど大きなものではなく、約5mmの重なりで貼り繋れて大きな判とされてから、海図に裏打ちされていることが分かった。これに関連して、水路部沿革史附録・上の明治9年の条の、水路部各課仮章程なる事務規定の中の「製図課月次報告要目表」という表には、「裏打」なる欄が見られ、章程の18条には、「裏打出来の上」と書かれ、さらに明治12年の作業規則の海図課の条には、「刷版後表装迄」とあり、裏打ち・表装などの作業を水路部内でやっていたことが分かる。

当時の英國のやり方が報告されている。Day (1967) が資料として引用する、1861年の英國の海図代理店向けの回章では、その第2項に、「海図は裏打ちし、ラベルを付し、灯色を差して供給する。裏打ちのための費用は取らぬ」とある。この英國の裏打ちは麻布かも知れぬが、英では水路部で作業を仕上げて渡すとしており、これを日本も倣ったか。水路部沿革史によれば、日本水路部は開業当初はイムレーその他の私会社版の緑背海図(blue-back)を官板と誤解して多量に買っているが、この緑背海図を真似た結果が青色ハトロン紙様の紙の裏打ちとなつたのではと言いたい。Howse & Sanderson (1978)によれば、緑背海図とは、19世紀になって人気の廃れた海図帖に代わって必要な個々の海図を丸めて保持する方式が普遍化したことに対応して、19世紀末まで英國で商船に好んで使われた私会社版海図で、航路沿いになるべく少ない数の海図を使用して航行しようとして、海図のサイズを大変に大版にし、広域を包含させるためにその縮尺を数十万から数百万分の一と小縮尺にし、多数の港泊図を分図として入れ

込んだもので、長さが6ftを超えるものも珍しくなかったという。この英私会社版の海図は青色紙で裏打ちされたのでBluebackといわれ、日本では緑背海図と訳された。Luymes (1931) は緯線・経線方向の航路での緑背海図の有利さを述べている。

保存海図への青色紙の裏打ちの下限は、整理表では海図番号88まで、つまり明治10年中頃までと読める。しかしそれ以降についての整理表の資料は外地の図であったり、水路部蔵のずっと後年の図であったり、閲覧できぬ資料であったりで、年代の下限の説得性は低い。むしろこの頃の発行図で残存するものの少ないと示すか。

☆神武・明治の使用、水路寮・局の使用——整理表右から12番目の列に、図廓外の英文中の発行年表記に使われたJinmuとMeijiの別を示した。明治7年頃から8年終り頃まで神武が使われ、以後明治が使われている。一般の「神武」の導入顛末と関連させて検討すべきである。

整理表右から9番目の列に、図廓外の和文中の組織名表記での水路寮・局の使い分けをまとめた。水路業務開始から明治5年11月までは組織名は水路局だから、開始時数図の海図は水路局名で発行されたはずだが、それらの海図には組織名の表記はない。その後明治5年11月から水路寮と名のり、9年9月からまた水路局に戻っている。整理表に見るごとく組織名は9年中頃を期に寮から局へと使い分けられている。印刷工程の性格上この頃から既に図載発行時期と実発行時期のずれはある。

☆手彩色——上述のDay (1967) の引用する資料では、英水路部での灯色の彩色を言っているが、整理表の右から2、3番目の列に海軍海図での彩色結果をまとめた。灯色の彩色は一図のみに見られ、利用者が自分で手差しするものだったかもしれない。一方水色は半数近くの図に施され、水部と陸部の境から始めて沖の方向に手差しでぼかす見事な図も見られる。ぼかしは二度差しとみえる筆跡のものもあり、相当に手間がかかっている。しかも干出堆と本陸の紛らわしい地紋表現にもかかわらず、間違うこ

となく水色が差されている。水路測量・海図作製の専門家の指示の下での作業と考えられる。部内で定常作業として色差し後外部に供給したのであろう。

☆海図番号洋数字表示——整理表の左から14番目の列に、図廓外の「No.□」の表示の有無を示した。明治8年末から書き込まれると読み取れる。外地では、略測であってもオリジナル測量を加えたものには番号を表示しながら、内地の略測図には表示しなかったようだ。

以上刊行時期を示唆する要素について簡単に私見を述べた。このような作業を行なうに部外諸機関の資料を広く深く渉猟検分することの難しさと自分の非力を痛感した。井中の蛙から一步脱して外界を垣間見ることが出来たことを喜ぶとともに、これから的情報化の時代にあっては、当部からのそれなりの資料の公開が必要なこととそのための準備が必要なことも痛感された。

- 参考文献
- 水路部編：水路部沿革史，水路部発行，pp.465，(1916)
 - 水路部編：水路部沿革史付録・上，水路部発行，pp.655，(1916)
 - Day,A.: Admiralty Hydrographic Service 1795-1919, HMSO, pp.378, (1967)
 - Howse, D. & Sanderson, M.: The Sea Chart, McGraw-Hill, pp.144, (1973)
 - Luymes, J.: The Blueback, I. H. Review, Vol.13, No.1, 33-38, (1931)

となく水色が差されている。水路測量・海図作製の専門家の指示の下での作業と考えられる。部内で定常作業として色差し後外部に供給したのであろう。

☆海図番号洋数字表示——整理表の左から14番目の列に、図廓外の「No.□」の表示の有無を示した。明治8年末から書き込まれると読み取れる。外地では、略測であってもオリジナル測量を加えたものには番号を表示しながら、内地の略測図には表示しなかったようだ。

以上刊行時期を示唆する要素について簡単に私見を述べた。このような作業を行なうに部外諸機関の資料を広く深く渉猟検分することの難しさと自分の非力を痛感した。井中の蛙から一步脱して外界を垣間見することが出来たことを喜ぶとともに、これから的情報化の時代にあっては、当部からのそれなりの資料の公開が必要なこととそのための準備が必要なことも痛感された。

参考文献

- 水路部編：水路部沿革史，水路部発行，pp.465，(1916)
- 水路部編：水路部沿革史付録・上，水路部発行，pp.655，(1916)
- Day,A.: Admiralty Hydrographic Service 1795-1919, HMSO, pp.378, (1967)
- Howse, D. & Sanderson, M.: The Sea Chart, McGraw-Hill, pp.144, (1973)
- Luymes, J.: The Blueback, I. H. Review, Vol.13, No.1, 33-38, (1931)

刊行時期を示唆する図載記事の有無や内容の整理表

国立公文書館蔵の海軍海図のうち明治12年末までに発行されたものについて海図番号順に一番古そうな海図を閲覧して整理した結果である。ただし特77乙-1が閲覧できぬため水路部蔵の日本海岸実測図を一部参考にした。
※欄：有(○)、無(×)、また整理不能(*)を記入。□欄：字句、数字または記載無(△)を記入。

海図番号	ローマ字図名	和文測量年(明治)	表示定価・銭
↓ 公文書館の	↓ 洋数字海図番号	↓ 和文部名・寮局	↓ 10年 8月当時の定価・銭
↓ 整理番号	↓ ↓ 英文発行年月	↓ 青色紙裏打ち	↓ 水色手差
↓ 圖号鋪	↓ ↓ ↓ 英文地武明治年紀	↓ 朱色縦長角印	↓ 灯色手差
↓ ↓ ↓ ↓ 圖名	↓ ↓ ↓ 英文西暦年の付記	↓ 水路部印章刷込	↓ 推定発行年月
↓ ↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓ (明治)
□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□	⊗ ⊗ □□ □ ⊗ □ □ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗	□□ □ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗	□□□
2 558-88 -10 野付濱之図	× × △	- - 4 △ ○ × × △ 12 × ×	5-10
3 558-88 -35 釜石港・宮古港之図の貼合図	× × △	- - 4 △ ○ ○ × 25 12&12 ○ ×	5-9&10
4 558-88 -12 寿都港之図	○ × △	- - 4 ○ ○ ○ × 12 12 × ×	5-11
5 558-88 -13 小樽港之図	○ × △	- - 4 ○ ○ ○ × 12 12 × ×	5-12
6 558-88 -5 函館港之図	× × △	- - △ 寮 ○ × × △ △ × ×	6-4
7 558-88 -17 下田港之図	× × △	- - △ △ ○ ○ × 12 △ × ×	6-4
(8) 堀瑠璃水道之図 6年 1月発行の図なし			
9 558-88A-10 東京海湾図	× × △	- - 5 △ ○ ○ × 25 25 ○ ×	6-6
10 558-88 -36 津軽海峡之図	○ × △	- - △ △ ○ ○ ○ × 不読25 × ×	6-6
11 558-88 -32 碓港之図	× × △	- - 慶元寮 ○ × × △ 12 × ×	6-9
12 558-88 -64 山川港之図	○ × △	- - 5 △ ○ ○ × 25 25 × ×	7-1
13 558-88-167 多口港之図			
14 558-88-167 増岡濱之図 の貼合図	× × △	- - △ 寮 ○ ○ × 55 △ ○ ×	7-2
15 558-88-167 国姓港之図			
16 558-88-167 淡水港之図			
17 558-88 -83 八重山全島図	× × △	- - 6 △ ○ ○ × 12 12 ○ ×	6-11
18 558-88 -87 運天港之図	○ × △	- - 6 △ ○ ○ ○ × 25 25 ○ ×	6-8
19 558-88 -89 那覇港之図	○ × △	- - 6 △ ○ ○ ○ × 不読25 ○ ×	7-5
20 558-88 -9 根室港之図	× × △	- - 4 △ ○ ○ × 12 12 × ×	7-5
(21) 朝鮮全図 6年 7月発行の図なし			
□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□	⊗ ⊗ □□ □ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗	□□ □ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗	□□□
(22) 厦門港之図 7年 2月発行の図なし			
23 558-88 -84 石垣港之図	○ × 7-2 神 × 6 △ ○ × × △ 15 ○ ×	7-2	
24 558-88 -91 慶良間海峡図	○ × 7-2 神 × 6 △ ○ × × △ 50 ○ ×	7-2	
25 558-88B-3 屋久一湊之図・口永良部島港図	○ × 7-3 神 × 6 △ ○ ○ × × △ 25 × ×	7-3	
26 558-88 -63 薩隅内海之図	○ × 7-3 神 × 5 寮 ○ ○ × × △ 100 ○ ×	7-3	
27 558-88 -8 厚岸港之図	○ × △ - - △ △ ○ ○ × × △ ○ ×	7-6	
28 558-88-220 楠渓海岸図	○ × 7-3 神 × 6 寮 ○ ○ × × △ 15 × ×	7-3	
29 558-88A-34 名瀬港図	○ × 8-11 神 × 6 寮 ○ ○ × × △ 25 ○ ×	8-11	
(30) 台湾南部 7年 4月発行の図なし			
31? 558-88-166 台湾島清国属地部	× × △ - - △ △ ○ ○ × × △ △ × ×	7-4の3 1か	
32? 558-88-165 台湾全島之図	× × △ - - △ △ ○ ○ × × △ △ ○ × ○	7-4の3 2か	
33? 558-86 車城鑄地	× × △ - - △ △ ○ ○ ○ ○ × × ○ ○ ×	7-4の3 3か	
34 558-88 -85 琉球群島之図	○ × 7-6 神 × 6 寮 ○ ○ × × △ 30 ○ ×	7-6	
35 558-88 -80 奄美大島海峡西部図	○ × 7-8 神 × 6 寮 ○ ○ × × △ 30 ○ ×	7-8	
36 558-88 -40 安波瀬図	○ × 8-10 神 × 7 寮 ○ ○ × × △ 30 ○ ×	8-10	
37 558-88 -39 野辺地湾	○ × 8-10 神 × 7 寮 ○ ○ × × △ 30 ○ ×	8-10	
38 558-88 -41 大烟浦之図	○ × 8-10 神 × 7 寮 ○ ○ × × △ 30 ○ ×	8-10	
39 558-88 -23 横浜港之図	○ × 7-9 神 × 6 寮 ○ ○ × × △ 30 × ×	7-9	
(40) 膜州湾並芝罘港之図 7年 7月発行の図なし			
41 558-88-208 廉島海峡・海洋島鑄地	○ × △ - - △ 寮 ○ ○ × × △ △ ○ ×	7-8	
(42) 圓頭及深灘 7年 8月発行の図なし			
43 558-88D-26 開江	○ × △ - - △ 寮 × × ○ 10 △ ○ ×	7-9?	
(44) 吳淞江口甬江口 7年頃発行の図なし			
45 558-88 -81 奄美大島全図	○ × 9-10 明 ○ 6 寮 × × ○ 30 30 × ×	9-10	
46 558-88D-24 英領香港島	○ × △ - - △ 寮 ○ ○ × × △ △ ○ ×	7-9	
47 558-88 -25 横須賀之図	○ × 9-3 明 ○ 6 寮 ○ ○ ○ 50 50 ○ ×	9-3	
48 558-88-159 澎湖諸島	○ × △ - - △ 寮 ○ ○ × × △ △ × ×	7-10	
49 558-88D-43 北直隸海濱図		図幅修復中にて閲覧出来ず	
50 558-88D-25 舟山群島諸海峡		図幅修復中にて閲覧出来ず	
(51) 不臘達斯礁脈銅山港 7年 6月発行の図なし			
□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□	⊗ ⊗ □□ □ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗	□□ □ ⊗ ⊗ ⊗ ⊗	□□□

刊行時期を示唆する図載記事の有無や内容の整理表(つづき)

海図番号	ローマ字図名	和文測量年(明治)	表示定価・銭
↓ 公文書館の ↓ 整理番号 ↓ 図号鋪 ↓ ↓ ↓ ↓	↓ 洋数字海図番号 ↓ ↓ 英文発行年月 ↓ ↓ ↓ ↓ 英文西暦年の付記 ↓ ↓ ↓ ↓	↓ 和文部名・寮局 ↓ ↓ 青色紙裏打ち ↓ ↓ 水色手差 ↓ ↓ ↓ ↓ 英文神武明治年紀 ↓ 朱色縦角印 ↓ 灯色手差 ↓ ↓ ↓ ↓ 水路部印章刷込 ↓ ↓ ↓ ↓ 推定発行年月 ↓ ↓ ↓ ↓ (明治)	↓ 10年 8月当時の定価・銭
□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□	□□ □□ □□□□□□□□□□□□□□	□□ □□ □□□□□□□□□□□□□□	□□ □□ □□□□□□□□□□□□□□
5 2 558-88-38 青森湾図	○ ○ 8-5 神 X X 寮 ○ X X @ 50 ○ X 8-5		
5 3 558-88D-23 塩河之図第二		図幅修復中とて閲覧出来ず	
5 4 558-88-100 朝鮮東海岸図	× × ⊕ - - ⊙ 寮 ○ X X @ 8-2		
5 5 558-88D-22 塩河之図第一	× ○ ⊕ - - ⊙ 寮 X X ○ 25 ⊕ X X 8-12		
(5 6) 大祖伯德湾	8年3月発行の図なし		
5 7 558-88-219 金角港・婆衣婆太湾	X X ⊕ - - ⊙ 寮 ○ X X @ ⊕ ○ X 8-2		
5 8 558-88-218 大日本海海岸図	X X ⊕ - - ⊙ 寮 ○ X X @ ⊕ ○ X 8-2		
5 9 558-88D-21 小陵河之略図	X ○ ⊕ - - ⊙ 寮 X X ○ 20 ⊕ X X 8-12		
6 0 558-88D-11 釜山港	○ X 9-3 明 ○ 8 寮 X X ○ 60 60 X X 9-3		
(6 1) 定港地・泉州港	7年1月発行の図なし		
6 2 水路部藏日本海岸実測図中の 大島神瀬補測之図	○ ⊕ - - 6 寮 * * X ⊕ * * 6-9?		
6 3 558-88-77 厳原及阿須港	○ X 9-10 明 ○ 8 局 X X ○ 50 50 X X 9-10		
6 4 558-88-78 網代湾	○ X 9-7 明 ○ 8 寮 ○ X ○ 20 20 X X 9-7		
6 5 186-41 清国沿海諸省図	× × ⊕ - - ⊙ 局 X X X ⊕ 35 X X 10-7		
6 6 558-88-62 佐賀灣	○ X 9-12 明 ○ 8 局 ○ X ○ 30 30 ○ X 9-12		
6 7 558-88D-7 順天浦略測図	○ ○ 9-10 明 ○ 9 局 X X ○ 15 15 X X 9-10		
6 8 558-88-58 宇和島湾	○ X 10-3 明 ○ 8 局 ○ X ○ 70 70 X X 10-3		
6 9 558-88-7 福島湾	X X ⊕ - - 7 局 ○ X X @ 12.5 ○ X 9-6		
7 0 558-88-42 三厩湾	X X ⊕ - - ⊙ 局 ○ X X @ 12.5 ○ X 9-6		
7 1 558-88D-17 濟物浦泊地略測図	○ ○ 9-6 明 ○ ○ 寮 X X ○ 10 10 X X 9-6		
7 2 558-88-69 蝦之浦略測図	X X ⊕ - - ⊙ ○ X X X ⊕ 10 ○ X 9-6		
7 3 558-88-68 若松浦略測図	X X ⊕ - - ⊙ ○ X X X ⊕ 8 ○ X 9-6		
7 4 558-88D-10 猪仇味略測図	○ ○ 9-7 明 ○ ○ 寮 X X ○ 10 10 X X 9-7		
7 5 558-88D-14 頂山泊地略測図	○ ○ 9-6 明 ○ 9 寮 X X ○ 10 10 X X 9-6		
□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□	□□ □□ ○ X X X ○ X X ○ X X ○ X X ○ X X	□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□ □□ ○ X X X ○ X X ○ X X ○ X X ○ X X
7 6 558-88D-8 加背梁略測図	○ ○ 9-6 明 ○ ⊕ 寮 X X ○ 8 8 X X 9-6		
7 7 558-88-56 彦島福浦港	○ X 9-6 明 ○ 8 寮 X X ○ 8 8 X X 9-6		
7 8 558-88D-9 巨济島及閑山海	○ ○ 9-12 明 ○ 9 局 X X ○ 15 15 X X 9-12		
7 9 558-88D-15 月尾島海峽略測図	○ ○ 10-3 明 ○ 9 局 X X ○ 20 20 X X 10-4		
8 0 558-88D-5 慶尚道海岸図	○ X 10-11 明 ○ ⊕ 寮 X X ○ 10 後 X X 10-11		
8 1 水路部藏日本海岸実測図中の 石巻湾略測図	○ ○ 10-5 明 ○ 9 局 * * ○ 55 ⊕ * * 10-5		
8 2 558-88-30 妻良子浦両憲之図	○ X 10-4 明 ○ 9 局 ○ X ○ 30 30 ○ X 10-4		
(8 3) 太平洋航跡図	10年7月発行の図なし		
8 4 558-88-29 田子及安良里豊之図	○ X 10-3 明 ○ 9 局 ○ X ○ 30 30 ○ X 10-3		
8 5 水路部藏日本海岸実測図中の 戸田港之図	○ ○ 11-5 明 ○ 9 局 * * ○ 30 後 * * 11-5		
8 6 558-88-18 江ノ島锚地	○ X 10-7 明 ○ 9 局 X X ○ 15 15 ○ X 10-7		
8 7 558-88-20 小網代港	○ X 10-7 明 ○ 9 局 ○ X ○ 12.512.5 X X 10-7		
8 8 558-88-31 热海近海図	○ X 10-6 明 ○ 9 局 ○ X ○ 80 80 ○ X 10-6		
8 9 558-88-28 清水港之図	○ X 10-8 明 ○ 9 局 X X ○ 60 60 ○ X 10-8		
9 0 a, b, c 特77乙-1 東京海湾(三枚組)	製本装丁の損傷甚として閲覧出来ず		
9 1 水路部藏日本海岸実測図中の 浦賀港之図	○ ○ 11-5 明 ○ 8 局 * * ○ 25 後 * * 11-5		
9 2 558-88-27 江之浦湾図	○ X 10-7 明 ○ 9 局 X X ○ 20 20 ○ X 10-7		
9 3 水路部藏日本海岸実測図中の 北海道東部	○ ○ 11-12 明 ○ 7 局 * * ○ 80 後 * * 11-12		
9 4 水路部藏日本海岸実測図中の 猪之串港略測図	○ ○ 10-10 明 ○ 10 局 * * ○ 12.5 後 * * 10-10		
9 5 特77乙-1 日本海岸全図	製本装丁の損傷甚として閲覧出来ず		
9 6 特77乙-1 伊豆国南海岸之図	製本装丁の損傷甚として閲覧出来ず		
(9 7) 奄美大島焼内湾	11年11月発行の図なし		
9 8 558-88D-98 蛇梁島狹口・熊川湾略測図	○ ○ 12-3 明 ○ 8 局 X X ○ 25 後 X X 12-3		
9 9 特77乙-1 大槌湾略測図	製本装丁の損傷甚として閲覧出来ず		
1 0 0 558-88D-16 浅水湾門	○ ○ 12-4 明 ○ 11 局 X X ○ 30 後 X X 12-4		
1 0 1 558-88-125 長浦江灘図	× ○ ⊕ - - 11 局 X X X ○ 7 後 X X 12-4		
1 0 2 558-88D-3 元山津・新浦錫地	○ ○ 12-4 明 ○ 11 局 X X ○ 30 後 X X 12-4		
1 0 3 特77乙-1 口之津溝図	製本装丁の損傷甚として閲覧出来ず		
1 0 4 特77乙-1 早崎水道	製本装丁の損傷甚として閲覧出来ず		
(1 0 5) 須崎及野見港	12年10月発行の図なし		
□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□	□□ □□ ○ X X X ○ X X ○ X X ○ X X ○ X X	□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□ □□ ○ X X X ○ X X ○ X X ○ X X ○ X X

第9表 海図番号 401~450

明治	(1900)	35	(1905)	40	*	(1910)	44	明治		
401			シ37-5 呉淞江一名黃浦	ダ39-3 ダ39-9		ダ41-6	ダ42-4	カ44-4	401	
402	シ33-11 新嘉坡本海峡		617と ヘ38-1 268から 間江		ダ41-10			402		
403				ヘ40-2 298から 碣石溝				403		
404	シ37-12 トロ港及附近諸锚地							404		
405	シ36-4 揚子江諸分図第 2502と ヘ37-2	シ38-1	ロング港及附近					405		
406	シ32-10 浦戸至足摺埼		178と ヘ38-1 269から 東引至温州溝	カ39-7			ダ42-5	306から 金星門港	406	
407	シ32-10 雄勝溝至若井埼		ヘ37-12 トロ港及附近諸锚地	シ38-6 三州溝			ダ42-5		407	
408	シ32-11 気仙沼溝至大槌溝		ト37-12 トロ港及附近諸锚地	シ41-12 溝竹洲至ブラーク角					408	
409	シ32-3 西江第 3								409	
410	シ33-1 バラセル群島		ヘ37-4 331から 西江第 2						410	
411									411	
412	シ33-3 ダイアモンド角至ベララ島			819と ヘ40-7 トロ港及附近諸锚地			ダ44-2		412	
413	シ32-11 カビテ港	ダ35-10		シ41-10 黄浦至廣東第 1				413		
413コク				シ41-10 黄浦至廣東第 2				413コク		
413オツ				シ41-3 廣東港				413オツ		
414	シ38-4 南了東水道			シ40-11 珠江三角州				414		
415	シ38-3 アバーディーン港				ダ42-1			415		
416	カ38-10 277から 三都澳及附近							416		
417								417		
418								418		
419コク				シ40-6 香港東部	ダ41-7 ダ41-10		ダ44-10	419コク		
419オツ					ダ42-3			419オツ		
420	シ33-11 アチエー頭至ダイアモンド角	カ36-6 298から	818と ヘ38-5 トロ港及附近諸锚地	シ39-9 298から 香港島	ダ41-6		ダ44-12		420	
421				シ40-5	ダ40-11		ダ44-2		421	
422							ダ44-11		422	
423	シ37-1 325から 珠江一名廣東河				ダ41-2 ダ41-11 ダ42-11		ダ44-9		423	
424	シ37-1 327から 珠江一名廣東河 第 2				ダ41-10 ダ41-12				424	
425	シ37-1 328から 珠江一名廣東河 第 3				ダ41-10				425	
426					*				426	
427									427	
428	シ34-1 シエン、ムン至トラ、コ島					710と ヘ41-1 スターリング溝及附近			428	
429	シ37-2 202から 白河第 1	カ38-5 556と	カ38-5 白河第 1	カ38-8 ダ40-3					429	
430	シ37-2 203から 白河第 2								430	
431	シ33-5 カムラン灣プロンロ灣	ヘ37-2 314から	カ38-6 白河第 3	カ38-6 白河第 2					431	
432	シ37-2 315から 白河第 4								432	
433	シ33-12 還羅海溝第 5		735と ヘ38-6 トロ港及附近諸锚地	シ39-12 297から 大鵬溝及附近	シ41-12 ダ41-11	香港至大鵬溝			433	
434	シ33-12 還羅海溝第 4			シ39-12 297から 大鵬溝					434	
435				シ38-1 289から 廈門内港	カ40-5	廈門内港			435	
436	シ34-1 還羅海溝第 2	732と ヘ38-6 733と	シ38-9 厦門外港	シ39-6					436	
437	シ32-1 還羅海溝第 1								437	
438	シ32-9 菲律賓諸島諸港第 2	ダ37-8 288と	ヘ38-8 442から 廈門港及附近	シ38-8 442から 廈門港及附近					438	
439									439	
440	シ32-11 マクレスフィールド礁						720と ヘ43-4	馬尾至福州府		440
441	シ32-8 茂浦港附近		149と ヘ38-6 271から 蕁山列島至揚子江	ダ39-1 ダ40-2 441と	ヘ41-10 トロ港及附近諸锚地	シ41-2		シ44-1	441	
441A				カ41-10	ヘ41-10 441から	シ41-7 杭州溝			441A	
441B				カ41-10	ヘ40-12 317から	シ42-3			441B	
442				カ41-10		シ42-3			442	
443									443	
444									444	
445	シ36-6 フアン、ラン溝至安南海溝	703と ヘ37-8 283から	温州港及附近				ダ42-10		445	
446	シ35-12 柴棍河至カム、ラン溝	704と ヘ37-8 284から	鳥丘嶼至東引				ダ41-2		446	
447	シ35-9 キク溝及附近沿岸	705と ヘ37-8 285から	羅星島諸島及附近	カ38-2 ダ39-8 ダ41-9			ダ42-5		447	
448	シ34-1 婆羅洲西岸第 4	563と ヘ37-8 286から	海塘海峡						448	
449	シ34-1 婆羅洲西岸第 5	565と ヘ37-8 287から	海塘海峡狭部						449	
450	シ34-1 婆羅洲西岸第 3	562と ヘ37-8 288から	紅日乱形二島間ノ水道	シ40-1 紅日、ラッゲッド二島間ノ水道					450	

第10表 海図番号 451~500

明治	(1900)	35	(1905)	40	*	(1910)	44	明治	
451	シ33-5	支那海諸礁						451	
452	シ33-7	海南島南岸諸港溝	335-10	海口溝				452	
453								453	
454	シ33-3	プロコンドル群島				729へと シ35-12	クールベー港附近	454	
455						シ35-3	チャム島	455	
456						シ35-11	海防附近	456	
457						シ35-5	安南海溝諸港諸锚地	457	
458						シ33-2	マシンロック及マタルビ島	458	
459						シ33-2	忍耐岬至海豹島	459	
460						シ36-3	キン、ホン港、許愛河口	460	
461							シ39-5		461
462						シ35-9	枝幸至岩内	462	
463						シ35-11	柴棍河一名ドン、ナイ河	463	
464						シ35-1	柴棍河一名ドン、ナイ河附近	464	
465						シ33-3	岩内锚地及附近	465	
466						シ34-6	33へと シ37-12	支那東岸諸分圖	466
467						シ34-6	33へと シ37-12	支那海岸諸锚地	467
468						シ37-6	279へと 泉州港		468
469						シ37-8	33から 箇頭及深瀬溝		469
470						シ35-11	フエン溝及ク、モン港		470
471						シ35-3	カム、ラン溝	717へと シ38-2	471
472						シ35-10	トロン島至カムブ附近	743へと シ38-1	472
473						シ35-9	暹羅海溝諸分圖	741-10	473
474						シ34-10	暹羅海溝第3	象山浦至甬江	474
475						シ38-5	盤谷河一名媚南河	738-6へと シ38-8	475
476						シ34-10	コー、シチャン港	739へと シ38-8	476
477						シ34-9	ラカン泊地至クヌ角	740へと シ38-8	477
478								478	
479								479	
480						シ35-6	カバス島至ラコン泊地	741へと シ38-8	480
481						シ35-6	暹羅海溝	737へと シ38-6	481
482						シ35-8	クアンタン河口、バハーン河口、ルムビン河口	沙里港	482
483						シ35-8	ツリアン、スキ及チョンボル諸海峡		483
484						シ35-5	ペラク河附近		484
485						シ36-2	チンドン諸島及水道		485
486						シ36-3	ペナン港		486
487						シ34-5	ペララ島至ラチャド岬	636へと シ41-4	487
488						シ35-5	ブターン群島至ペララ島		488
489						シ33-11	クラン河口	40-1	489
490						シ37-3	281から 揚子江南方附近	揚子江口	490
491						シ37-2	280から 揚子江口附近	240-5	491
492						シ34-2	麻刺加海峡諸锚地	240-10	492
493						シ37-6	312カウ	揚子江上流諸港	493
494						シ37-4	318から 揚子江上海至南京	42-7	494
495						シ37-2	319から 揚子江南京至東流	42-4	495
496						シ37-3	321から 揚子江東流至漢口	43-1	496
497						シ37-2	322から 揚子江岳州府至キ州府	43-3	497
498						シ34-2	ラチャド岬至ウンダン島	42-6	498
499						シ37-7	漢口	44-7	499
500						シ37-2	348から 揚子江諸分圖第1	43-7	500

第11表 海図番号 501~550

明治	(1900)	35	(1905)	40	*	(1910)	44	明治
501			~37-2 349から 揚子江諸分圖第 2					501
502			~37-2 405から 揚子江諸分圖第 3			カ42-7		502
503			シ37-6 揚子江諸分圖第 4		シ40-10			503
504						~42-7 346から 揚子江諸分圖第 5		504
505			シ38-5 翻陽湖			カ42-10		505
506			シ37-6 湘江第 1		カ41-10			506
507			シ37-6 湘江第 2		ダ41-12			507
508	シ33-10 コクラン上陸所		シ36-5 モツオ島至ルツノ角 682ヘビ 37-4 シ37-7 元水第 1	ダ39-10				508
509			シ37-7 元水第 2	ダ39-6				509
510			湘江諸分圖					510
511			~37-8 344から 洞庭湖及湘江		ダ41-10			511
512				シ39-6 元江第 3				512
513			シ36-5 マラムバヤ浦	751ヘビ	シ39-6 サンデー島至南嘴			513
514			シ36-2 バラワン島		752ヘビ	岳州至南嘴		514
515			シ35-7 ブリンセサ墨	756ヘビ	アラウカノヘビ			515
516				アラウカノヘビ	ボッタム灣			516
517			シ35-7 ウルガン灣					517
518			シ36-3 セント、ポールス灣至エマーゼンシ-角					518
519			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)					519
520			シ35-12 菲律賓諸島諸港	665ヘビ	アラウカノヘビ			520
521			シ36-4 スピク港及シランギイン港	ア38-7	アラウカノヘビ			521
522			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)					522
523			シ36-4 菲律賓諸島諸港第 3	ア36-5	アラウカノヘビ			523
524			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)	ア38-7	アラウカノヘビ			524
525a			ア37-9 301. 165 支那海北部第 1	カ37-12				525a
525b			ア37-9 301. 246 支那海北部第 2	カ38-3	支那海北部東區	カ41-3		525b
526					*			
527			シ37-12 廣州灣附近		ダ40-12			526
528			シ36-5 菲律賓諸島諸港第 4	ア38-5	アラウカノヘビ	シ39-3 マツシエ-河		527
529a				ア38-7 161ヘビ		電白港		528
529b			シ37-10 支那海南部東區					529a
530			シ37-10 支那海南部西區		ダ40-1		ダ43-7	529b
531				ア38-1 52から プラタス礁脈及島				530
532			シ35-12 ブジャガ灣	683ヘビ	ア37-6 731から	シブコ灣北岸		531
533								532
534			シ37-11 デント港					533
535			シ37-11 ポンガオ錨地					534
536			シ36-12 サンベドロ灣至リブカン諸島	シ37-12	ボルネオ東岸諸灣及諸錨地	ダ38-3		535
537				カガヤンスル及附近諸島				536
538			シ36-10 セブ港		ト38-1	アラウカノヘビ		537
539			シ36-7 バナン至モツオ島					538
540			シ37-12 サンダカン港			カ41-11		539
541			シ36-7 チラムタ港至ツラデンギ角					540
542			シ37-11 シラム港					541
543			シ37-12 ガヤ灣至サンダカン港			ダ41-12		542
544			シ37-12 タガナク島至タウイ、タウイ島					543
545				シ39-8 ジェッセルトン港				544
546			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)					545
547			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)					546
548			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)					547
549			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)					548
550			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				ダ44-6	549
					*			550

第12表 海図番号 551~600

明治	35	(1905)	40	*	(1910)	44
551		シ37-12 パラムバンガン島及バラバック島諸錨地				551
552						552
553						553
554	シ34-10 ミットフォード港	カ39-9				554
555	シ35-11 バラバック海峡及婆羅・バラワン間諸水道					555
556	シ37-6 スル巖島及ボルネオ北岸	ダ39-9				556
557	ヘ37-2 431から カムラン灣及ブンロ灣	716ヘビヘ39-11				557
558	シ37-2 シブコ溝					558
559	シ37-7 ランカヤン至サンダカン港	ダ39-10				559
560	シ37-5 ダーベル溝				シ43-3 マルツ溝	560
561	シ37-5 マラワレ島至ランカヤン		ダ41-10			561
562	ヘ37-6 450から 婆羅北西岸第3					562
563	ヘ37-6 448から 婆羅北西岸第4					563
564	シ34-10 クダト港			カ42-9 ポルネオ諸分圖、クダト港		564
565		ヘ37-6 449から 婆羅北西岸第5				565
566	シ34-10 アンボン溝					566
567	シ34-11 婆羅北西岸第8					567
568	シ34-7 ルット角至ガヤ頭			ト41-10 シ41-8 ダンビル角至ガヤ頭		568
569	シ34-10 婆羅北西岸第7	ダ39-6			カ44-2	569
570	シ34-10 ブルニ河					570
571	シ36-11 ムアラ港及ブルニ河附近					571
572	シ34-10 ピクトリア港					572
573	シ34-10 ラブアン島	ダ35-7				573
574	シ34-10 婆羅北西岸第6		ダ39-6		ダ41-3	574
575	シ34-12 サラワク河					575
576	シ35-12 婆羅北西岸第2				ダ43-1	576
577	シ34-12 ローヤリスト島				シ43-5 ナツナ諸島諸分圖	577
578	シ35-12 婆羅北西岸第1	ダ39-7			カ43-2 バュング角至ダツ角	578
579	シ35-12 ナツナ列島				カ43-4 北ナツナ諸島	579
580	シ34-12 アナムバ列島北東群島					580
581	シ35-3 アナムバ列島					581
582	シ37-6 シブコ溝北部					582
583	シ36-3 ジャバ諸分圖			シ42-10 ポンチアナク至バユング角		583
584		ヘ310ヘビヘ39-10			マサ、チガ島至ポンチャナク	584
585	(この番号はこの期間には一般海図には使用されなかつたか)			シ43-4		585
586	ヘ38-11 393から バンカ海峡至新嘉坡					586
587	シ38-8 バンカ海峡					587
588	シ36-6 カリマタ海峡			ダ41-10		588
589	シ34-9 バンカ及ガスバル海峡	ダ37-8				589
590	シ36-5 バンカ海峡	ダ37-10				590
591	シ38-10 バンカ海峡南口			ダ41-7		591
592	シ37-12 ガスバル海峡			カ41-6		592
593	シ37-12 サンダ海峡及附近					593
594	シ34-10 テロク、ベツン					594
595			シ40-8 タンジョン、パンダン附近			595
596	シ34-6 蘇麻答臘西岸諸分圖					596
597	シ34-10 蘇麻答臘西岸第2					597
598	シ34-6 コニンジン溝及ペダン泊地					598
599	シ34-9 マサン角至インドラプラ角	ダ37-12				599
600	シ34-6 蘇麻答臘西岸諸錨地					600

第13表 海図番号 601~650

明治	35	(1905)	40	*	(1910)	44	明治
601	シ35-10 蘇麻答臘諸分圖	――ダ37-12	607ヘビ	スマトラ北西岸諸分圖	601		
602	シ36-2 蘇麻答臘西岸第1	ダ38-1	ダ40-1	スマトラ西岸第2	602		
603	シ35-4 蘇麻答臘西岸諸錨地諸分圖	――	604ヘビ	スマトラ西岸諸錨地諸分圖	603		
604			ヘ40-7 カ40-9 597から	(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)	604		
605			ヘ40-1	スマトラ西岸諸錨地第2	605		
606			ヘ40-2 601から	スマトラ諸分圖	606		
607			シ40-10	スマトラ南岸諸分圖	607		
608				ダ43-8	608		
609	シ37-12 東叢島西部	ダ38-5	シ39-8 584から	ジャバ諸分圖	609		
610	シ36-6 バタビア泊地	――	ダ43-11		610		
611					611		
612					612		
613					613		
614	シ37-4 ジャバ南岸諸分圖	――ト39-10	シ39-10	（この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか）	614		
615	シ37-12 ジロロ島諸錨地	――カ39-10		（この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか）	615		
616				（この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか）	616		
617				（この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか）	617		
618				アチヘ頭至ダイアモンド角	618		
619				ダ40-5 413から ダイアモンド角至ペララ島	619		
620	シ37-11 麻刺叻加海峽	――			620		
621	ヘ37-6 492から 麻刺叻加海峽諸錨地	――			621		
622	ヘ37-9 399から ラチャド角至新嘉坡	――			622		
623	ヘ37-4 499から ラチャド岬至ウンダン島	シ37-12 ピラミッド淺灘至ペサル島	シ40-4 新嘉坡近海	――	623		
624				ヘ37-9 400から 新嘉坡泊地	624		
625					625		
626			*				
627							
628							
629							
630							
631							
632							
633							
634							
635							
636							
637							
638							
639							
640							
641							
642							
643							
644							
645	ヘ37-10 391から 呂宋島北部	カ38-8	ダ40-6	ダ41-9	ダ43-11	645	
646						646	
647						647	
648						648	
649						649	
650						650	

第14表 海図番号 651~700

明治	35	(1905)	40	*	(1910)	44	明治
651		シ37-12 吕宋島西岸諸錨地					651
652		シ37-12 吕宋島至マスバテ島					652
653		シ37-12 菲律賓諸島諸分圖第 1 タ38-3	ト40-6	ⒶⒶⒶⒶⒶ	シ41-3	呂宋島北西岸諸分圖	653
654		シ37-12 菲律賓諸島諸分圖第 2					654
655		ヘ38-7 520から 菲律賓諸島諸港第 1	カ40-12				655
656		ヘ38-7 438から 菲律賓諸島諸港第 2					656
657		ヘ38-7 523から 菲律賓諸島諸港第 3			カ43-10		657
658		ヘ38-5 菲律賓諸島諸港第 4			カ42-4		658
659		シ37-12 菲律賓諸島諸港第 5					659
660		シ37-12 菲律賓諸島諸港第 6			シ41-10	イロイロ海峡	660
661		シ37-12 菲律賓諸島諸港第 7 タ39-10	ト41-1				661
662		シ37-3 菲律賓諸島諸港第 8 タ37-12	タ40-1		タ41-7 タ41-12		662
663		シ37-12 菲律賓諸島諸錨地第 1					663
664		シ37-12 菲律賓諸島諸錨地第 2				タ43-11	664
665		カ37-12 セブ島及マクタン島、セブ港及附近	タ39-10	ダナオ河及附近			665
666						カ44-3	666
667		シ37-12 ニュー、ギニー北西部附近諸錨地			ト41-6 シ41-12	ルセナ錨地、バグビラオ溝及ラグイマノク港	667
668		シ37-12 ボルネオ及ニュー、ギニー間諸分圖	ト40-8	ヘ37-8	ト41-5	ⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶⒶ	668
669		シ37-12 菲律賓諸島及近海					カ44-6
670		シ37-12 セミララ、イリソ及アムボロン島			タ40-5		669
671		シ37-12 ニン溝及マンダオン港					670
672		シ37-12 ミンダナオ及セレベス間諸錨地					671
673		シ37-12 セント、ペルナルチノ海峡及ミンドロ海峡間 タ38-3 タ40-10			カ42-4		672
674		シ37-11 セレベス海東部 タ40-7				カ43-3 カ43-12	673
675		シ37-12 セレベス島北部諸分圖			カ41-5	セレベス島北部略測諸分圖	674
676		シ37-12 セレベス島東部諸分圖		*			675
677		シ37-12 セレベス島東岸諸錨地	ト40-12	ⒶⒶⒶⒶⒶ	シ41-4 668から	ボルネオ及ニュー、ギニー間諸分圖 タ42-1 タ44-8	676
678		シ37-7 スル一名ミンドロ海東部 タ38-1 タ39-11	カ40-11				677
679		シ37-12 ミンダナオ北岸諸分圖					678
680		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)	タ39-12				679
681		シ36-11 サンベンドロ溝至リブカン諸島					680
682		ヘ37-4 508から モツオ島至ルツノ角					681
683		ヘ37-8 531から ブジガ溝					682
684		シ37-1 ルツノ角至ドンド角					683
685		シ37-6 スル畿島——タ38-2					684
686		シ37-12 スル畿島諸港					685
687		シ37-12 リブカン諸島至ナロ溝					686
688		シ37-12 マンキラス溝					687
689		シ37-6 マカッサル海峡北部			タ40-2		688
690		シ37-11 ムルシェラゴス溝			タ41-2		689
691		シ37-11 ハルセイ港					690
692		シ38-3 サン、ペルナルチノ海峡及附近					691
693		シ38-5 バタン島至サン、ペルナルチノ島及ヒマガアン溝至イナモク					692
694		シ39-10 スアル港及カバリチアン溝附近					693
695		シ39-11 ポリナオ港及附近					694
696				カ40-4 41-4&5	カビテ港		695
697				シ40-5	菲律賓諸島諸分圖第 3		696
698				シ40-6	セサジャブ及ブルンガン河		697
699				シ40-10	菲律賓諸島諸分圖第 4		698
700				カ40-11	マシンロク港、マタルビ港及バラウイグ溝	カ42-10	699

第15表 海図番号 701~750

明治	35	(1905)	40 *	(1910)	44	明治
701			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)			701
702			(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)			702
703		ヘ37-6 445から フアン、ラン溝至安南海溝	41-4			703
704		ヘ37-6 446から 柴棍河至カム、ラン溝-----	41-6			704
705		ヘ37-6 447から キ、キク溝及附近沿岸-----				705
706		シ38-1 フアン、ラン溝-----				706
707		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				707
708		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				708
709		ヘ39-10 309から 安南海溝-----				709
710		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)	41-2	シェン、ムン至トラ、コ島	41-6	710
711		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				711
712		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				712
713		シ39-11 安南沿岸諸分圖-----				713
714		シ37-12 ラク河至カオ、タオ諸島-----	41-11			714
715		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				715
716		ヘ39-10 556から カム、ラン溝及ブンロ溝-----				716
717		ダヘ37-12 469から カム、ラン溝-----	41-7			717
718		シ37-12 柴棍河一名ドン、ナイ河-----	40-10 484から 柴棍河一名ドン、ナイ河附近-----			718
719				ヘ43-4 440から マクレスフィールド堆		719
720						720
721		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				721
722		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				722
723		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				723
724		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				724
725		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)	*			725
726		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				726
727			41-6 457から 海防附近-----			727
728		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				728
729			41-4 454から プロ、コンドル群島	41-7		729
730		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				730
731	シ37-2 シブコ溝北岸 531へと、ヘ37-6 (△△△△△)ヘ38-6 437から 邁羅海溝第1-----					731
732	ヘ38-6 436から 邁羅海溝第2-----					732
733	ヘ38-6 472から 邁羅海溝第3-----		41-11			733
734	ヘ38-6 433から 邁羅海溝第4-----		41-7			734
735	ヘ38-6 433から 邁羅海溝第5-----					735
736	ヘ38-6 471から 邁羅海溝諸分圖-----					736
737	ヘ38-6 477から 邁羅海溝-----					737
738	カ37-12 473から 盤谷河一名湘南河-----					738
739	ヘ38-8 474から コ、シチャン港-----					739
740	ヘ38-8 475から ラコン泊地至タネ角-----					740
741	ヘ38-8 476から カバス島至ラコン泊地-----		40-7 盤谷港-----			741
742				41-9 470から トロン島及カムブト附近-----		742
743						743
744	シ37-12 馬來半島東岸諸分圖-----					744
745	シ37-5 ブケト港-----					745
746				シ42-12 邁羅海溝諸分圖-----		746
747		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				747
748	シ36-12 ジャバ島西部-----				ダ44-1	748
749		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				749
750		(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)	*			750

第16表 海図番号 751~804

明治 35	(1905)	40	(1910)	44	明治
751	~39-7 513から マラムバヤ浦	*			751
752	~39-7 514から バラワン島			ダ44-6	752
753	シ37-3 マラヌット溝及ナコダ溝				753
754	(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				754
755	(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				755
756	~38-1 515から ブリンセサ港				756
757	(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				757
758	(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				758
759	(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				759
760	(この番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				760
761	シ37-12 バッセイン河至ペナン島			ダ44-4	761
762	シ38-1 コロンジ島至ホワイト角				762
763	シ37-12 ラングーン河及附近	シ38-3	ダ40-11		763
764	シ38-1 イラワヂ河第 1				764
765	シ37-12 イラワヂ河第 2				765
766	シ37-12 サルウイン河				766
767	シ37-12 モールメーン河及附近				767
768	シ37-12 モールメーン港				768
769	シ37-12 エー河附近				769
770	シ37-12 ホワイト角至メリギ				770
771	シ37-12 マルタバン海岸諸分圖				771
772a	シ37-12 メルギ叢島北部		ダ41-10		772a
772b	シ37-12 メルギ叢島南部	シ38-1		ダ44-4	772b
773	メルギ港附近				773
774	シ38-1 メルギ港				774
775	シ37-12 ヘースチングス及附近諸島		*		775
776	シ37-12 サエル島至麻刺加海峡西口ランカウイ島	シ39-5			776
777	モールメーン河至エー河				777
778	シ37-12 タボイ河				778
779	シ39-6 ヒンゼ溝				779
780	シ39-9 ベンチング海峡				780
781~800	(これらの番号はこの期間には一般海図には使われなかったか)				781~800
801	シ37-8 アナヅイリ溝	ト39-2	ダ44-5		801
802	シ37-8 セニアビン海峡	ト39-2	ダ44-6		802
803	シ37-8 ベーリング海西岸諸分圖	ト39-2	ダ44-7		803
804	シ38-1 太平洋西部	ト39-2	ダ44-8		804
35		*	40	44	

第17表 雜図参考図

明治	(1875)	10	*	(1880)	15	*	(1885)	20	*	(1890)	25	*	(1895)	30	明治
乙 2								226へと シ14-2 航跡圖自日本東京至濠州悉尼	21-7 236へと シ12-6 天圖	45へと シ14-2 日本近海海風圖	226から1007へと 236から1008へと 43へと 45へと 45Bから1009へと	36-4 36-4 36-4 36-4 36-4			乙 2
乙 3															乙 3
乙 4															乙 4
乙 5															乙 5
丙 1	(シ12-8 英国海軍水路局海圖上略語及標号之訳解) 21からへ?~? 朝鮮全圖	1001	*	ト?~? 30からへ16-10 臺灣南部	1002	*	ト?~? 31からへ16-10 臺灣清國屬地部	1003	*	ト?~? 65からへ16-10 清國沿海諸省圖	1004	*			1001
丙 2		1002	*		1003	*		1004	*		1005	*		1002	
丙 3		1003	*		1005	*		1006	*		1007	*		1003	
丙 4		1004	*		1007	*		1008	*		1009	*		1004	
		1005	*		1009	*		1010	*		1011	*		1005	
		1006	*		1010	*								1006	
		1007	*		1011	*								1007	
		1008	*											1008	
		1009	*											1009	
		1010	*											1010	
		1011	*											1011	
1013															1013
1014															1014
1015															1015
1016															1016
1016*															1016*
1017															1017
1018															1018
1019															1019
1020															1020
1021															1021
明治		*			15	*		20	*		25	*		30	明治

これらの番号はこの期間には未だ使われなかつたか

これらの番号はこの期間には未だ使われなかつたか

番号付けずに **シ28-1 海圖索引第1 北洲及黒龍沿岸州** **カ30-1** —
 番号付けずに **シ26-1 海圖索引第2 本州、四国及九州** **カ30-1** —
 番号付けずに **シ27-1 海圖索引第3 南西諸島、朝鮮及支那** **カ30-1** —

番号付けずに **シ30-7 秘密海圖索引** —以後不明
 1013
 1014
 1015
 1016
 1016*
 1017
 1018
 1019
 1020
 1021

第17表 雜図参考図 (つづき)

明治	(1900)	35	(1905)	40	*	(1910)	44	明治
2 3 4 5 6 7 丙 1 2 丙 3 丙 4		:			*			2 3 4 5 7 丙 1 2 丙 3 丙 4
1011コウ	ヘト	1011コウ	ヘト	1011コウ	ヘト	1011コウ	ヘト	1011コウ
1001	~36-4 43から天圖		~36-4 77から世界全圖			1001		1001
1002	~36-4 12地磁気水平力圖		~36-12 地磁気水平力圖		カ40-11	1002		1002
1003	~36-4 12地磁気傾差圖		~36-12 地磁気傾差圖		カ40-11	1003		1003
1004	~36-4 19から磁磁偏倚差圖		~36-4 19から磁磁偏倚差圖		カ40-12	1004		1004
1005	~36-4 17から北太平洋大圓航法圖		~36-4 17から北太平洋大圓航法圖			1005		1005
1006	~36-4 226番から太平洋航跡圖		~36-4 226番から太平洋航跡圖			1006		1006
1007	~36-4 236番から航跡圖		~36-4 236番から航跡圖			1007		1007
1008	~36-4 45から日本近海風圖		~36-4 45から日本近海風圖		ト42-9 1011コウ	1008		1008
1009	~36-4 29から日本近海暴風進路圖		~36-4 29から日本近海暴風進路圖		シ40-3 揚子江本支流總圖	1009		1009
1010	~36-7 オツ7から日本海軍海圖式		~36-7 オツ7から日本海軍海圖式		ト43-8	1010		1010
1011コウ	~32-5 [番号付与] 1012コウ タ36-1 --- タ37-1 --- カ38-1 --- タ39-1 --- タ40-1 --- タ41-1 --- タ42-1 --- タ43-1 --- タ44-1		~32-5 [番号付与] 1012コウ タ36-1 --- タ37-1 --- カ38-1 --- タ39-1 --- タ40-1 --- タ41-1 --- タ42-1 --- タ43-1 --- タ44-1			1011コウ		1011コウ
	~32-5 [番号付与] 1012オツ タ36-1 --- タ37-1 --- カ38-1 --- タ39-1 --- タ40-1 --- タ41-1 --- タ42-1 --- タ43-1 --- タ44-1		~32-5 [番号付与] 1012オツ タ36-1 --- タ37-1 --- カ38-1 --- タ39-1 --- タ40-1 --- タ41-1 --- タ42-1 --- タ43-1 --- タ44-1			1012オツ		1012オツ
	~32-5 [番号付与] 1012ハイ タ36-1 --- タ37-1 --- カ38-1 --- タ39-1 --- タ40-1 --- タ41-1 --- タ42-1 --- タ43-1 --- タ44-1		~32-5 [番号付与] 1012ハイ タ36-1 --- タ37-1 --- カ38-1 --- タ39-1 --- タ40-1 --- タ41-1 --- タ42-1 --- タ43-1 --- タ44-1			1012ハイ		1012ハイ
	シ32-5 海圖索引第4 菲律賓、ボルネオ、他 [番号付与] 1012ハイ タ36-1 タ37-1 カ38-1 タ39-1 タ40-1 タ41-1 タ42-1 タ43-1 タ44-1		シ32-5 海圖索引第4 菲律賓、ボルネオ、他 [番号付与] 1012ハイ タ36-1 タ37-1 カ38-1 タ39-1 タ40-1 タ41-1 タ42-1 タ43-1 タ44-1			1012ハイ		1012ハイ
1013	シ37-3 日本近海水先圖 (毎月刊行) ト29-2 1013		シ38-4 世界貯炭所及電信線路圖 タ39-10 タ40-3 タ41-8 タ43-6 タ43-12			1013		1013
1014			シ38-3 世界汽船航路圖		カ41-3 カ43-5	1014		1014
1015			シ37-12 海圖索引第5 東叢島及太平洋諸島 ト? - ? (実際に刊行されたか)			1015		1015
1016コウ			シ37-12 海圖索引第5 東叢島及太平洋諸島 ト? - ? (実際に刊行されたか)			1016コウ		1016コウ
1016オツ			シ37-12 海圖索引第5 東叢島及太平洋諸島 ト? - ? (実際に刊行されたか)			1016オツ		1016オツ
1017			シ37-12 行水路誌索引圖		タ41-3 タ42-10	1017		1017
1018			シ38-7 サムナー氏經緯度法用圖			1018		1018
1019			シ38-8 (傍子午線緯度法用圖)			1019		1019
1020			シ43-9 航海用圖			1020		1020
1021			シ44-3 方位投錨及運動用圖			1021		1021
明治		35		40	*	明治		明治